

神戸市外国語大学 学術情報リポジトリ

Memories of professor Satou

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2010-11-30 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 長江, 裕芳 メールアドレス: 所属:
URL	https://kobe-cufs.repo.nii.ac.jp/records/569

This work is licensed under a Creative Commons Attribution-NonCommercial-ShareAlike 3.0 International License.



佐藤通先生の思い出

長 江 裕 芳

佐藤通先生が脳出血で倒れられてからはや5年が経ちます。三年間の療養の後、一昨年度退職なされました。私は、外大が六甲にあったころから共に自然科学系の教員ということもあり長い付き合いをさせていただきました。先生は、数学と物理学担当の教員として赴任され、その後数理の世界、科学文化論、東の科学等を教えられました。

佐藤先生は、大変温厚な性格で博識家でありまたユーモアのある人でした。あらゆるジャンルの書物を読んでおられ、世界中のあらゆる映画のことに深い関心と造詣を持っておられました。木村先生（学長）の著書「神戸釣り倶楽部」にも描かれておりますように、自身を含めてもの事を冷静、客観的にみる修練をつんでおられました。先生に、悩み事を分析してもらい良いアドバイスを頂いた学生や教員は私をふくめ数知れないことと思います。卒論で先生から懇切丁寧な指導をうけている多くの学生さん達を記憶しています。

先生の専門は宇宙物理学と宇宙論でしたが、関心の中心はこの宇宙になぜ人間が存在しているのかの謎を解くことでした。万有引力定数や、電子や陽子もっている電氣量がほんのわずかわらっていたとしたらこの宇宙に生命や人間が存在できなかつたかもしれないということを熱心に話してくださいました。論文“現代宇宙論における「人間原理」について”（2000年、「神戸外大論叢」51巻5号および2004年、「神戸外大論叢」55巻7号）で詳しく述べられています。

教育では、ご自分の専門をわかりやすくかみ砕いて講義の中に活かしておられました。論理学は人はなぜ騙されるのかということやコンピュータはどうやって計算や論理判断をしているのかと関連づけて説明しておられました。また、三次元の宇宙の形はどんな形なのかという問題を、二次元閉曲面の問題を通じて大変わかりやすく説明しておられました。二次元閉曲面は、球面、球面に取手を一つつけたもの（ドーナツやティーカップ）、二つ、三つ、... 付けたもの、球面に穴をあけそこにメビウスの帯を一つ、二つ、三つ、..., 付けたものしか存在しないということを私も先生からはじめて教わりました。（三次元の宇宙の形はどんな形のものに限られるのかという問題は、先頃ロシアのグレゴリー・ペレリマンという数学者によって解かれました。）

さて、私事になりますが私の記憶のなかで先生からいただいたもので今も鮮明に残っていますことは、いわゆるニーダム問題、「なぜ科学と資本主義は西洋で生まれ東洋では生まれなかったのか」と言う問題が存在していて、科学に関しては、ユークリッドの幾何原論とデモクリトスの原子論が大変大きな影響を西洋社会に与えてきたと言うことを教えていただいたことです。この問題について先生と何度か楽しく議論させていただいたことがなつかしく思い出されます。議論を通じて論理というものの意味や重要性を教えてくださいました。また研究室も近くだったため、先生には些細なことから重大なことまで相談に乗っていただきました。ありがとうございました。

先生は現在郷里の岩手県に帰られ、なおリハビリをはじめとする治療を受けておられます。一刻もはやい御回復をこころからお祈りしております。